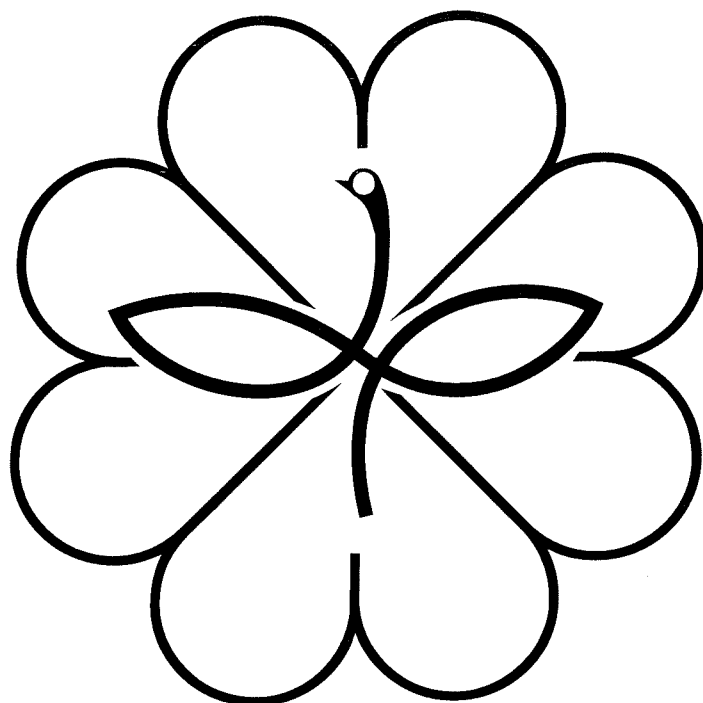


民生委員・児童委員活動報告書

広げよう 地域に根ざした 思いやり



令和7年4月

山梨市民生委員・児童委員協議会

目 次

- ①加納岩地区……P1 ~ P3
- ②日下部地区……P4 ~ P6
- ③八 幡地区……P7 ~ P8
- ④山 梨地区……P9 ~ P10
- ⑤日 川地区……P11 ~ P15
- ⑥後屋敷地区……P16 ~ P18
- ⑦岩 手地区……P19 ~ P21
- ⑧牧 丘地区……P22 ~ P24
- ⑨三 富地区……P25 ~ P28

会 長 名 雨宮 政文

副 会 長 名 小池 正樹

民生委員定数 19 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4. 14(日)	4 月定例会議 避難行動要支援者台帳整備の取組 (防災危機管理課より説明・協議 他)	11. 14(木)	11月定例会議 (各地区の活動の様子、購入助成事 業、生活支援サポート事業、研修会 の計画他)
5. 16(日)	5 月定例会議 高齢者への取組について (実態の把握、慰労金申請、ふれあ いペンダント他)	12. 12(木)	12月定例会議 (全国大会の報告、地区研修会、各 種研修会、歳末助け合い贈呈活動 他)
5. 16(日)	加納岩地区民児協総会 (事業報告、会計報告、事業計画、 予算等について他)	12. 12 ～12. 31	歳末助け合い贈呈活動 各区の取り組み方、区長組長との 連携、高齢者の実態把握
8. 18(日)	8 月定例会議 (児童虐待防止、自殺防止対策、敬 老記念品贈呈事業の取組、地区社協 との関わり)	12. 19(木)	加納岩地区民児協研修会 (山梨県立防災安全センター、サン トリー白州蒸留所天然水工場)
9. 10(火)	9 月定例会議 (善行賞・会長表彰、各種研修会、 いきいきサロンの取組、加納岩地区 研修会の計画)	1. 16(木)	1 月定例会議 (配食サービス、備品整備助成、指 定民児協、地区研修会報告、一人暮 らし高齢者支援マップの作成他)
9. 10 ～ 9. 30	敬老祝い品の贈呈活動 各区の取り組み方、区長組長との 連携 高齢者の実態把握	2. 15(土)	2 月定例会議 (指定民児協、配食サービス追加事 項、県民児協大会表彰、灯油助成券 交付、各種研修会他)
10. 17(木)	10月定例会議 (歳末助け合い事業対象者名簿作成の 取組、敬老祝い品贈呈活動のまと め、加納岩地区及び各種研修会他)	3. 15(土)	3 月定例会議 (福祉施設備品整備助成事業、市民 児協総会、報償費、民生児童委員改 選、信条・歌、地区福祉マップ他)

1. 福祉マップの作成

① 趣旨

現在、個人情報保護の観点から、活動の対象となる高齢者や困窮者一人ひとりの情報の、把握、共有等しにくい状況が生まれている。また、高齢者数の増大により、民生委員・児童委員一人に対する対象者の数も増大している。

このような中で、取組別の対象者一覧表だけでは無く、全ての対象者が俯瞰できるマップがあることにより、掌握しやすく、位置関係も含め、有事の際の支援にも役立つという観点から、マップ作りを進めていくこととした。

② 取り組み

(1) 前年より、マップの必要性については触れられていたが、11月に口頭で提起。当初は、「一人暮らしの高齢者サポートマップ」という形で進め、将来的には、福祉活動対象者が俯瞰できるマップの作成に進めたら良いという柔軟な取り組みとした。

(2) 活動に当たっては、加納岩地区社会福祉協議会や加納岩地区区長会との協働を念頭に、山梨市社会福祉協議会のサポートをいただきながら進めている。

令和6年度末を目途に、一人暮らしの対象者のマーキングを、11月の改選引き継ぎ期までに、他の対象者のマーキングを行い、引き継ぎ時に役立てられるよう進めている。

③ 課題

(1) 次のような課題を解決しながら進めようとしている。

- どこまでの対象者を記入していくのか。
- 一覧表との併用が必要なこと。
- 対象者の合意についてどう考え進めていくか。
- 対象者の転居、入所等や新対象者をどこまで把握することができるか。
- 複数の委員が居る地区は、マップの保管・活用をどう進めるか。

④ 展望

高齢化が進む中で、日常活動の関わり対象はますます増大していく。また、人と人とのつながりが希薄になっていく状況下では、民生児童委員一人ひとりが、全ての対象者に、日常的に関わっていくことも難しさを伴う。

マップが全てを解決してくれるわけでは無いが、地域の区長・組長をはじめ、福祉に関わる他の機関・人材との交流や共通理解を図っていく上で、マップが有力なアイテムとなっていくことは明らかである。

急速に取り組んでいくという活動にはなりにくいですが、次期委員に引き継ぎながら、じっくりと地道に作成・活用を進めていきたい。

【一年間の評価と今後の課題】	(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)
<p>《評価》 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定例会議を計画通り実施し、全員が意見を言える場を確保できていること。 ② 会長会議や社会福祉協議会の討議事項等を情報として共有できていること。 ③ 一人ひとりの民生児童委員が、それぞれの地域で住民との関わりを持ち、関係作りを進めながら、活動を進めていること。 ④ コロナ禍を抜け、数年間実施できていなかった「いきいきサロン」が飛躍的に拡大していること。 ⑤ 敬老の贈呈品や歳末助け合いの取り組みが、計画的に進められ、区長との関わりも進められてきていること。 ⑥ 加納岩地区民児協の独自活動として、「福祉マップ」の取り組みが始められたこと。 ⑦ 加納岩地区民児協の取り組みとして、5年ぶりに「地区民児協研修会」を実施できたこと。 ⑧ 2年半の活動の中で、福祉活動に関わる、委員一人ひとりの理解が進み、実践につながられていること。 	
<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域に入っていく上で、個人のプライバシーや時間のずれなど、越えなければならないハードルが高いこと。 ② 定例会議が、自分の活動の課題や、悩み等を話し支援し合う場としては、まだ不十分であること。 ③ 学習を進めながらも、地域にどこまでふみこめるか、不安が払拭できていない。 ④ 担っている地域の員数に対し、適正と思える委員数になっていない。また、民生児童委員数のバランスに偏りがある。 ⑤ 独自課題の追求がまだ不十分で、活動の力になり得ていない。 ⑥ 委員相互の関係を、さらに充実させたい。 	
<p>《定例会の様子》(定期的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各月定例会議は、6・7月を除く10ヶ月、加納岩公民館にて実施している。毎回ほぼ全員の出席により、情報共有、活動方法、活動への意見等交わしている。 ○ 年に一度、5月に総会を実施。活動の振り返りや計画について協議している。 ○ いきいきサロンは、様々な形により、9区中7区で定期的に行われている。 	

日 下 部 地 区 民 生 委 員 児 童 委 員 協 議 会 活 動 報 告 書

会 長 名 鶴 田 正 英

副 会 長 名 佐 藤 勇

民生委員定数 18 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】（期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

毎月17日日下部地区定例会、会長は、毎月初旬地区会長会議（但し、6月、7月は
会長は、（全国民児協大会、山梨県民児協理事会）、各地区いきいきサロンの参加
各地区防災訓練の参加、各研修会の参加、各地区お祭りの参加

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月17日	市役所防災危機管理課から説明	12月7日	元気長生きの集いの実施
4月25日	山梨市民生委員児童委員協議会 定期総会	12月初旬	歳末助け合いの粗品配布
8月25日	各地区 区民会館防災訓練	1月17日	日下部地区親睦会
9月11日	元気長生きの集い	3月初旬	元気長生きの集いのラジオ体操 6日間
10月13日	小原3区お祭り		
10月17日	裾野消防署講話と煙の体験		

【取り組みの事例】

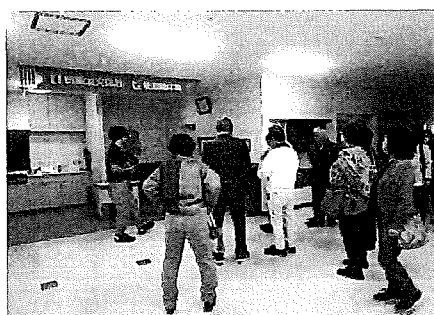
(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

8月25日3区区民会館で3区役員、民生委員4名、各組長で3か所に分かれ、段ボール箱ベットの組み立て、災害避難グッズの紹介、土嚢袋作りを体験

10月13日、女性民生委員は食事の準備、男性民生委員は、部分で車の神輿を載せて担ぐところまで搬送を担当

10月13日、女性民生委員は食事の準備、男性民生委員は、部分で車の神輿を載せて担ぐところ

10月17日裾野消防署の講話と煙の体験



3月初旬の元気長生きの集いラジオ体操



《評価》

月に1回提出される「活動件数集計報告書」を確認するとコロナウィル当時訪問がほとんどなかったが、ほとんどの人が訪問の活動が上がってきている。

従って、申し分のない活動状況が見受けられる。

定例会は、数人の欠席があるがほとんどの人が定例会に参加している。

定例会時には、各民生委員児童委員が抱えている問題をみんなで意見を出し合って解決し、問題の解決に取り組んでいる。

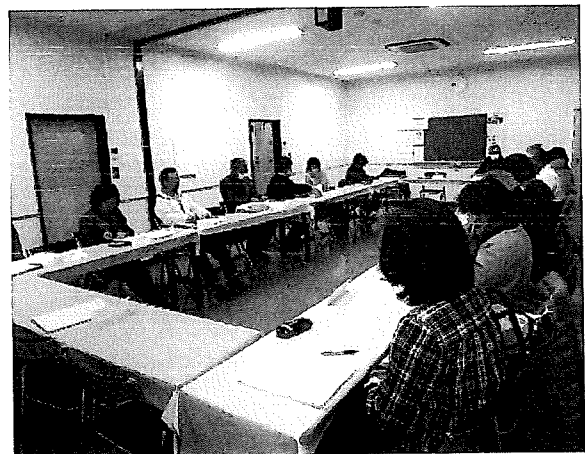
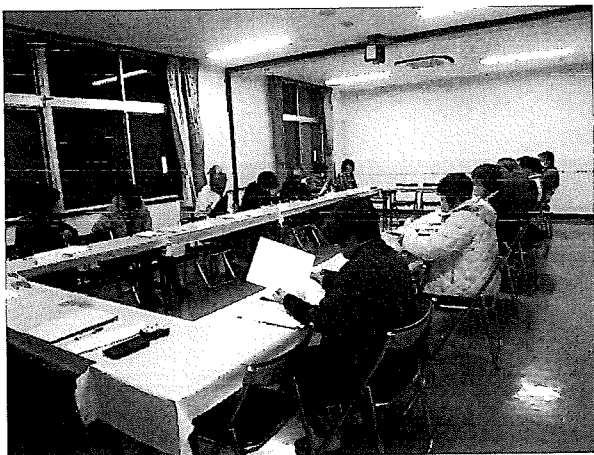
各委員からの要望に対しても会議に参加されている経験豊富な委員の意見を聞きながら対策をしている。

《課題》

民生委員児童委員も仕事内容の地域の皆様に周知徹底がなされていないところがある。

出前講座を提案したが、各委員は消極的であったこと

定例会の様子



八幡 地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会長名 日野原 和子

副会長名 窪田 マサ子

民生委員定数 14名 うち主任児童委員 2名

【年間の主な行事】 (期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

- ・毎月第3木曜日定例会
- ・老人福祉施設との懇談会 年2回
- ・担当委員会(随時)
- ・県・市各種研修会・講演会参加
- ・地域公民館行事立案・実行への協力

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月	防災担当課による研修	10月	出前講座“防災について”受講学習
5月	地区社会福祉協議会 総会全委員出席	12月	・歳末贈呈品届け ・一年の反省会・懇親会
6月	組織の見通し、体制の変革	1月	立川防災館見学 応急救護訓練 体験学習 VR防災体験 煙体験室 防災ミニシアター
7月	“ふらっと寄道”要請・実施		
8月	新体制にてスタート	2月	・地区文化祭実行委員協力 ・老人施設関係者との地域懇談会 (年2回)
9月	・敬老祝い金届け ・活動記録の記入方法 福祉課による説明 ・独居老人宅の防災見守り 消防署・警察署と共に漏電・鍵 の確認	3月	地区文化祭協力 (公民館主催)

【一年間の評価と今後の課題】

(期間：2024年4月1日

～2025年3月31日)

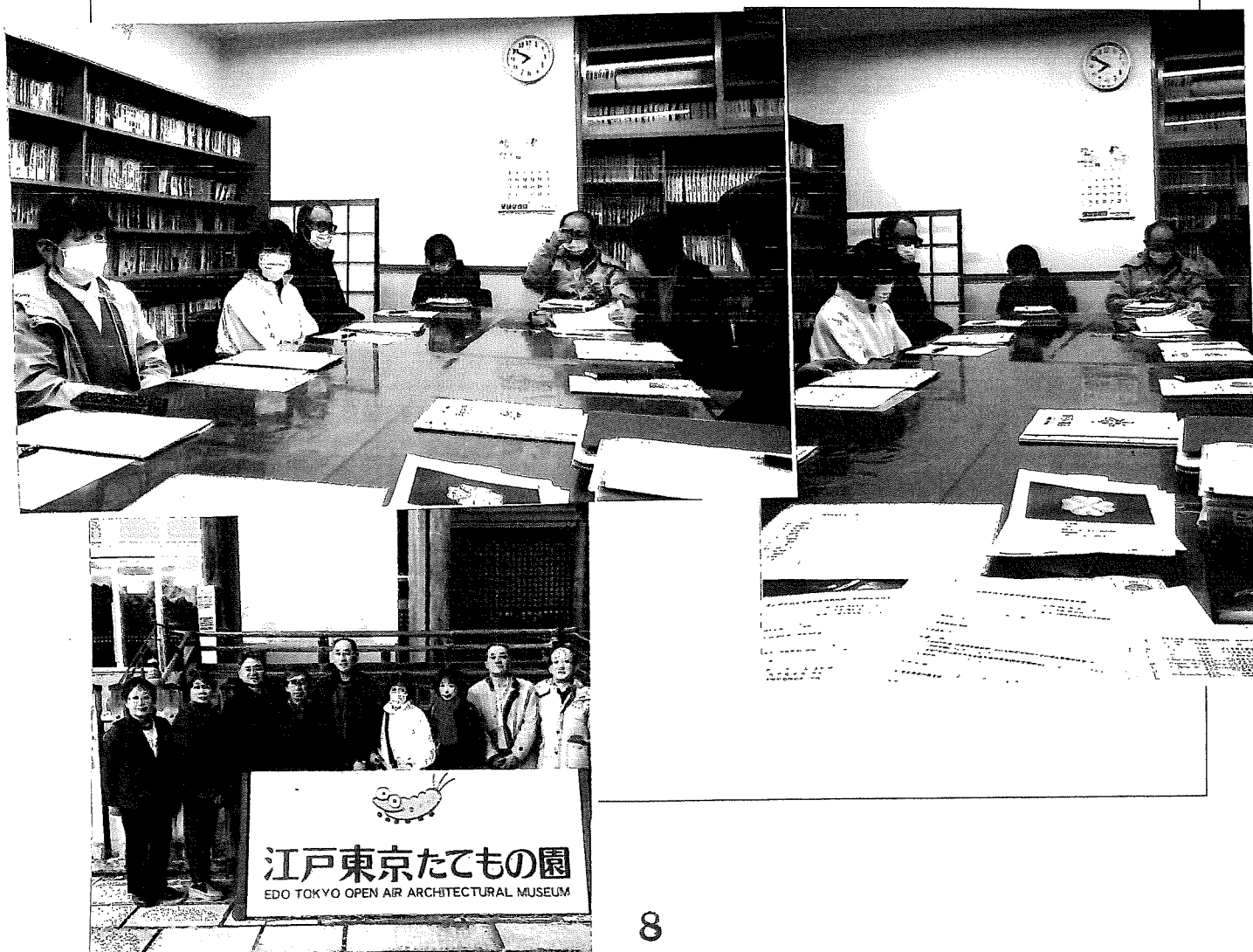
《評価》

地域の独居老人宅訪問は元より、住民への見守り、困り事の相談にのったり、又、公民館・スポーツ協会の会議・行事等に参加・協力したりするなど、十分な活動を行っているという評価できる。

各自が出席した研修会・講習会等の報告を行っている。又、地域の情報を共有するように努めている。

《課題》

- ・委員各自の更なる意識の向上と地域住民への“顔の見える委員”を目指す。
- ・更に住民とのかかわり方を深く学ぶ。
- ・委員同士の交流を計り、楽しい委員会活動として2期・3期つとめたい。



山梨地区民生委員児童委員協議会 活動報告

会長名 小泉 昭美

副会長名 小川 幸

民生委員定数 12名

うち主任児童委員 2名

【年間の主な行事】 (期間:2024年4月1日～2025年3月31日)

- ・地区定例会議(毎月14日 変更あり) 6月、7月を除く
- ・県、市主催各種研修会、講演会、地域包括行事、イベントに参加
- ・地区会長は、市地区長会議に出席(毎月の上旬、6月、7月を除く)
- ・市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会(地区会長、区長会長、民生委員会長)と会議
- ・主任児童委員は、学校運営委員会、学校行事に出席

山梨地区民生委員児童委員協議会の活動

(○ 地区民児協 ・ 各区)

月	活動項目	月	活動項目
4月	○定例会 ・小学生集団登校の見守り ・組長会議に出席 (地区会議の内容報告) ・地区神社春祭り式典参加 ・いきいきサロン(体操、ゲーム) ・入学式出席(主児)	10月	○定例会 ○「出前講座」認知症について ・地区神社秋祭り式典参加 ・組長会議に参加(同) ・いきいきサロン(体操、クイズ) ・小学校運動会参観(主児)
5月	○定例会 ・組長会議に出席(同上) ・学校運営委員会出席(主児) ・いきいきサロン(体操、折り紙) ・根津美術館見学の事前学習会 ・美術館見学、参議員会館見学	11月	○定例会 単位民児協会長副会長研修会報 ・地区防災訓練参加 ・組長会議に参加(同) ・いきいきサロン(体操、ゲーム) ・いきいきサロン(甲州弁で語る民 ・小学校ふれあい祭り参観(主児) ・学校運営委員会出席(主児)
6月	・組長会議に出席(同上) ・いきいきサロン(体操、クイズ)	12月	○定例会 ○歳末助け合い義援金記念品配布 ・いきいきサロン(高齢者と食事会)
7月	・高校生と区民との事故対応 ・いきいきサロン(体操、ぬり絵)	1月	○定例会 ・新年拝賀式参加 ・いきいきサロン(フレイル予防) ・いきいきサロン(カラオケ)
8月	○定例会 ・組長会議に出席(同上) ・いきいきサロン(体操、ゲーム)	2月	○「出前講座」空き家対策について ○定例会 ・組長会議に参加(同) ・いきいきサロン(高齢者と食事会) ・いきいきサロン(体操、ゲーム) ・6年生を送る会参観(主児) ・学校運営協議会出席(主児)
9月	○定例会 ○敬老の日記念品配布 ・防災についての講義(市職員)	3月	○定例会 ・区総会出席 ・いきいきサロン(体操、クイズ) ・小学校卒業式出席(主児)

【一年間の評価と今後の課題】（期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

＜評価＞

月1回(6月、7月を除く)の定例会には、時間厳守で概ね全員が出席している。その際、「活動状況報告書集計表」を回収しているが、提出状況もよく積極的に活動している。

市からの報告事項の伝達終了後、市の出前講座を通して研修を深めたり、参加した研修の報告をしたりして研鑽に努めている。

各地区での活動の事例を通して情報交換を行い、今後の活動に生かしている。

地区の社会福祉協議会と連携を図り、活動内容の課題点を改善できた。

県、市等主催の研修に積極的に参加し、見識を広めている。

各地区の行事に参加し、地区の様子や情報交換の場としている。

＜課題＞

民生委員、児童委員と区の役員の役割との共有を図るため、さらなる連携を深めていくこと。

民生委員、児童委員の活動内容のさらなる周知のため具体的な対策を考えていくこと。

【定例会の様子】



会 長 名 小田切 信夫

副 会 長 名 佐野 久美子

土屋 雅人

民生委員定数 9 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月12日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 全民児連HP動画視聴 5月12日民生委員・児童委員の 日に合わせた啓発活動「ふれあ いカード」配布	10月11日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 日川地区民児協研修旅行につい て「静岡市地震防災センター」 地区会長会議では各地区の問題 や相談事などについて話し合う ことがあるのか？配布資料の分 配、連絡事項の確認など（会議 が形骸化しているかも）
5月17日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 総会後の講演会概要説明 日帰り研修について「防災関係 施設・障害者施設」11月か年明 け実施したい	11月14日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 日帰り研修について「防災関係 施設・障害者施設」年明け2月 実施したい
8月20日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 民生委員児童委員協議会会費納 入について 敬老祝品の贈呈に ついて 「ふれあいカード」配 布対象者拡大について	12月5日	歳末たすけあい贈呈品と 「ふれあいカード」配布
9月6日～	敬老祝品と「ふれあいカード」 配布	12月12日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 日帰り研修について「スマイル いちのみや（一宮町）」「白樺 園（三富町）」日程は3月6日ま たは3月16日、図書購入提案 （小林雅彦氏の著書全8冊）
9月13日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 重層的支援 体制整備事業（複雑・複数の困 りごとを抱えた人たちの支援を 強化するため、窓口で相談を受 け付けるだけでなく、地域の中 にも積極的に出向いていく 「ふらっとよりみち相談会」も 取組の一つ	1月16日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 日帰り研修について「スマイル いちのみや（一宮町）」「白樺 園（三富町）」日程は3月6日、 9時発10時から11時白樺園見 学、昼食（利久）13時30分から スマイルいちのみや。今後はこ ども食堂TERU見学予定

2月13日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 山梨市民児協総会について4月30 日午後1時30分～市民会館3階 日川地区創造活動のための備品 事業助成金申請を日川小学校学 童クラブに説明	3月13日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 研修旅行は降雪の為、「白樺 園」は延期、「スマイルいちの みや」は実施、県民児協の竹内 会長より説明を受けた。民生委 員のためのハンドブック交換
-------	---	-------	---

ミニ講演会① 「成年後見制度」 吉岡 泰志

1991年 山梨大学修士卒で富士通カンタムデバイス入社（現：住友電工）

2000年 山梨大学より博士号学位授与

工学博士：乙15 Step motion on crystal surface

2013年 社会福祉士資格取得 2017年 PC要約筆記資格取得

2019年 手書き要約筆記資格取得

2022年 成年後見受任 趣味：バイク、フルート演奏

特技：食べ物うまいもの探し

講演会概要

第1回ミニ講演会 講師：吉岡泰志さん 京都生まれ。62歳。

富士通でサラリーマンをしていたが妻を亡くし生活が荒れた時期もあった。

社会福祉士の勉強をしている時に聴覚障がい者に出会い、自分にできることがあるのではないかと考え要約筆者となる。その後、成年後見人としても活動4年。父は民生委員をしていたのでその姿を見ていた。

○聴覚障がい者の情報保障として要約筆記は必要。聴覚障がい者のうち手話がわかる人は2割。あとの8割の人は要約筆記が必要。

○高齢になると聴覚障害が出始め、認知症にもなりやすい。認知症が進むと、契約解約手続き等を、本人に代わり裁判所の依頼を受け た成年後見人が行うことがある。認知症になっても、その人がその人でなくなったわけではない。施設への入居手続きを進めても、その人にとって本当によいことだったのかと自問している。

○民生委員制度は海外でも類を見ない制度。日本の民生委員制度は106年の歴史があり、海外からも制度について 見学に来る。公務員でありながら無償というのは、大変驚かれる。

○高齢者の貧困問題 明治学院大学教授 河合克義氏の論文をもとに。

- ・一人暮らし高齢者の半分は貧困。所得が生活保護受給基準を下回っていても生活保護を受けていない。
- ・生活保護費は東京と地方では差がある。
- ・貧困に苦しむ高齢者数は、世田谷区も山形県も同じ割合。
- ・一人暮らし高齢者の公営住宅が不足している。
- ・孤独死も増加傾向にある。
- ・貧困が招く孤独。貧困ゆえに交際、交流の場に出て行くことに消極的になってしまう。

○肥大化する社会保険料のために必要な福祉サービスが削られる。莫大なオリンピック費用などをも少し福祉に向けてもらえたら…と思った。介護保険サービス利用者はサービスが必要な人の10数%にとどまる。

三二講演会②

サテライト桃源荘

所長 渡辺 正道

「サテライト桃源荘と介護について」

- ・利用者状況について（利用状況、入退去の状況、要介護度状況、介護事故発生状況、生活の様子）
- ・新型コロナウイルス関係
- ・今後の予定（行事予定）
- ・要望、意見交換、助言

三二講演会③

全民治連HPの動画視聴

「ひろば」裏表紙 最下部のQRコードを読み込みHPへ

→パスワードを入力して専用ページへ」

視聴後の感想

相談技法研修用ビデオ視聴 配布資料参照 お弁当の食事をしながら視聴した。

① ビデオで民生委員が、対象者を訪問する際にいつもバッジと身分証を着けていたが みんな着けているか？

・ バッジは着けないが身分証は着ける がほとんど。普段着ではバッジは着けにくい。

② ビデオにあるように「相談したいことがある」と言われたことがあるか？

・ 歌田で「クラクションおばさん」と呼ばれ、子どもたちから怖がられている車がスクールゾーンを走行し問題になっている。警察に相談するべきか悩ましいが…

・ 親子？らしき大人と子どもが大声でもめている場面に遭遇したことがある。

声をかけた方がよかったのか、何と声かけをすればよいのか難しい。

・ 地元の民生委員には知られたくない内容の相談もある。…など。

外部講師を呼ばなくても、この動画を視聴することで勉強になる

施設見学研修

複合福祉施設 スマイルいちのみや

「スマイルいちのみや」高齢者の通いの場（デイサービス）と障害者の通いの場

（就労継続支援B型・生活介護）の3つの複合型施設

地域交流や多世帯交流のできるアットホームな雰囲気の施設でした



【一年間の評価と今後の課題】

(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

《評価》

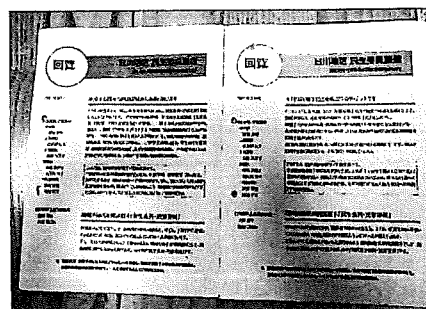
毎月の日川地区定例打合せにおいては山梨市民児協の議事を全件フィードバックしており、議事録も毎回作成しています。欠席者にももれなく通知されています。日川地区民生委員通信を日川地区の全組回覧として130枚印刷発行しています

地区定例打合せは議題をPDFで・LINE

グループ事前配信し会議内容を周知

報告事項終了後、抱えている問題や参加した

研修の報告等の情報交換をしている(マイ・ブーム)



《課題》

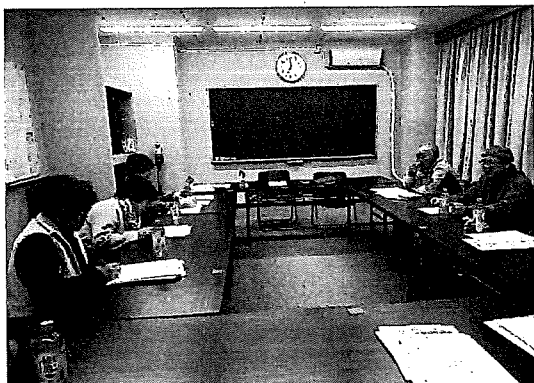
- ・他の地区や他市町村との交流がない
- ・担当制を取り入れ責任をもって運営したい(研修・会議・総務担当等)
- ・毎回テーマを決めて対処方法の勉強をしたい
- ・地区民生委員児童委員としての単独のイベントが無く常にお手伝いの感がある

日川地区民児協令和7年2月定例会議事録

日時 令和7年2月13日(木) 19時～21時
出席者 小田切、窪田、萩原、岡田、佐野
場所 日川公民館

- 地区会長会議2月7日の報告
 - 令和7年度の配食サービス事業利用更新について(配付資料参照)
 - 利用者負担金：現行より50円値上げ
 - 現在の利用者に利用を継続するか確認し継続の場合は「配食サービス事業利用申請書」を記入のうえ次回定例会で小田切会長に提出する
 - このサービスは介護認定を受けていない人でも利用可
 - 新規利用の人も【更新用】の申請書に記入
 - いのちのセーフティフォーラム2025について
 - 2月18日(火) 13:30～15:50
 - 市民会館1階ホール
 - 入場無料、事前申し込み制(先着順)
 - 灯油助成券交付について
 - 住民税非課税世帯に交付
 - 詳細は山梨市のホームページを参照
 - 指定民生委員児童委員協議会事業の指定について
 - 都道府県ごとに単位民児協を指定し、民児協運営の充実と活動の強化を通じて民生委員・児童委員活動の支援を図ることを目的とした事業(全国民生委員児童委員連合会)
 - 今回は山梨市が当番。三富地区が独自の取り組みを行う
 - 令和7年度民生委員児童委員協議会総会について
 - 4月30日(水) 午後1時30分～ 市民会館3階
 - 皆さん、ぜひ出席を!!
 - 記念品は二つ折りパンダー(A4サイズ)
- 児童福祉施設等における創造活動のための備品整備助成金申請
 - 外部委託運営の施設でも対象となり申請OKとのことなので、日川小学校の日川学童クラブに申請書を渡した

【定例会の様子】



後援数

地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会長名 林 和夫

副会長名 反田 暁洋

民生委員定数 9 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
R6 9. 15	敬老の日 奨励金交付 高齢(25才)以上独居		
11. 2～3	ふるさと祭り 11/2 体育祭 (協力) 11/3		
12. 15～20	歳末たすけあい 障害者 他 母子父子家庭 高齢者		
R7 3月	ふれあい祭り (協力)		
2月	備品整備助成金 交付申請書 児童支援センター へまわり		
各月	各氏・児童委員へ衣類 日常支援活動		

活動項目記載の通り

《評価》

各種行事(地区)における行事への参加運営への協力に感謝を頂ぎ、参加者の送迎等の協力高年齢への配慮に尽力感謝等

各委員においては担当地区の住民との交流相談等の日常に寄り添い絆の要めとしての活動は月毎の報告・対応の記録とする

《課題》

社会の風潮、思考から孤立化、高齢者への配慮に高意識を持ち、孤立は共通の底年齢層への声かけ等が重要な世帯との社会福祉の高意識と制度発出の精神、使命、インテグリティを持ち、持続の活動に取り組む!

【 定例会の様子 】

① 出席参加は 9名中8名(委員)

② 一ヶ月の活動内容や起業事項と確認行政の対応部署係の対応の情報交換

③ 活動記録の集計

④ 出席講座の要望確認等(開催含む)

会 長 名 樋口 明美

副 会 長 名 中村 和夫

民生委員定数 6 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

○毎月、市の地区長会議を受けて地区の定例会を行う。

○県、市の各種研修会、講演会、学校行事、公民館主催の行事に参加する。

○ふれあいサロンの企画、運営を行う。

○地区の社会福祉協議会の地区長、事務局、評議員として総会、行事等を運営する。

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月23日	ふれあいサロンの実施 コーラス健康体操	3月1日	公民館祭に協力 ふれあいサロンを兼ねてオーボ エコンサート等に参加
9月27日	ふれあいサロンの実施 オカリナコンサート	1月17日 2月14日	岩手保育園の存続に関わる市の 説明会に参加
10月23日	公民館主催のスポーツフェス ティバルと協賛してふれあい サロンの実施体力測定や軽ス ポーツを行った	12月中旬	歳末贈呈品届け
11月28日	ふれあいサロンの実施 昔語りの会		
12月20日	ふれあいサロンの実施 正月飾り作り		
2月12日	ふれあいサロンの実施 マジックショー		

【取り組みの事例】

(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

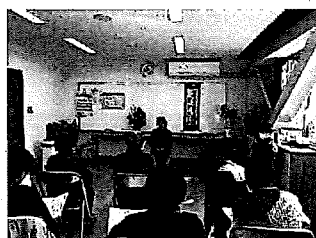
9月27日オカリナコンサート



10月23日スポーツフェスティバル



11月28日昔語りの会



12月20日正月飾りづくり



3月1日オーボエコンサート



2月12日マジックショー



【一年間の評価と今後の課題】

(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

《評価》

○県や市主催の研修会には、積極的に参加することができた。少人数の委員であるが都合をつけ合い参加し、講習の内容については月ごとの定例会で還流報告を実施した。

○農繁期の5月から8月を除いて、毎月ふれあいサロンを実施することができた。市の社会福祉協議会に相談しながら内容を決定したり、地区の方に講師を依頼したりなどしてバラエティーに富んだ活動ができた。また、ふれあいサロンのお知らせの配布には委員が各家を訪問し、直接手渡しすることで安否確認や情報収集をすることができた。

《課題》

○コロナ禍の間、ふれあいサロンの活動が中断されていたことや、参加者の高齢化によりサロンへの参加人数が減少してしまっている。対象者にお便りを配布するだけでなく、回覧板を利用して全戸にふれあいサロンについて知らせるなどの工夫をしたが、新規の参加者の増加は不十分である。

○個人情報保護などもあり、なかなか踏み込んだ活動は難しいが、民生委員の仕事について地域の方々に周知してもらうことも大切であると思われる。

【 定例会の様子 】

○毎月実施した定例会では、研修会の報告や各地区の情報交換などざっくばらんな雰囲気で行うことができ有意義な時間となった。

牧丘地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会 長 名 渡 邊 年 男

副 会 長 武 井 俊 一 信 藤 祐 雄

民生委員定数 32名(欠員1名) うち主任児童委員 2名

【年間の主行事】(期間:2024年4月1日~2025年3月31日)

月 日	活 動 項 目
毎月第3金曜日	<p>定例会(牧丘地区全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市会長定例会(毎月)の報告・各委員からの報告 ・市役所、各種団体等からの調査、配布物等の配分 ・各委員の日頃の活動を通じた意見交換 ・前月活動報告書の提出など
毎月	<p>地区の受け持ちごと、各委員による活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種困りごと相談 <ul style="list-style-type: none"> 生活貧窮、健康、治安、介護、子育てなど ・ひとり暮らしの高齢者を対象とした見守り、声かけ訪問 ・各種証明(調査、確認等) <ul style="list-style-type: none"> 配食サービス、生活保護、児童扶養手当など
毎月	<p>牧丘地域ミニデイサービス(市社協主催)への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施される手芸、歌、体操などのミニデイサービス事業に対して、住民へ周知などを行っている。
9月20日	<p>敬老祝い金、物品の届け(市、社協の協力)</p>
12月20日	<p>歳末たすけあい事業 激励金、物品の届け(市、社協の協力)</p>

【取り組みの事例】	(期間:2024 年4月1日～2025 年3月31日)
<p>8月 ふれあいカードの配布</p> <p>ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、万一の時、カードを見た人がすぐに、家族やかかりつけ医に連絡できるよう連絡先の住所、電話番号を記入した「緊急連絡カード」を希望者に配布。</p> <p>冷蔵庫や固定電話の横など、目立つところに置いてもらうようお願いした。</p> <p>配布戸数 約80戸(牧丘地区全体)</p> <p>10月19日 牧丘町福祉運動会</p> <p>牧丘町社会福祉協議会の実施した福祉運動会に参加し、設営、運営等に携わった。</p> <p>参加人数 約200名</p> <p>11月中旬～下旬 牧丘町社会福祉協議会グランドゴルフ大会</p> <p>牧丘各地区(諏訪、中牧、西保)の社会福祉協議会がそれぞれ個別に実施するグランドゴルフ大会に参加し、設営、運営等に携わった。</p> <p>参加人数 約 180 名(諏訪 80 名、中牧 20 名、西保 80 名)</p> <p>3月13日 牧丘町民生児童委員研修</p> <p>横浜市民防災センター(地震・火災体験)</p> <p>地震、火災を模擬的に体験し災害時の防災対応について認識を深めた。</p> <p>牧丘地区全体参加者 11名(うち児童委員2名)</p> <p>毎月 牧丘地域ミニデイサービス</p> <p>山梨市社会福祉協議会牧丘支所が、高齢者を対象とした生きがいの発見や要介護の予防を目的として、牧丘町総合会館で実施する工作・手芸・歌・体操などのミニデイサービスに協力し、地元の民生委員が参加の呼びかけ等を行っている。</p> <p>年間実施回数 50回(対象:牧丘地区全体)</p>	

【一年間の評価と今後の課題】	(期間:2024 年 4 月1日～2025 年 3 月 31 日)
<p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、コロナ禍の影響により、中止されていた研修・行事などが実施出来るようになり、活動できたことは良かった。 ・任期2年目を向かえ、民生委員の役割が少しずつ理解でき、各委員がそれぞれの受け持ちの地区で、足が地に着いた行動がだんだん出来るようになって来たのではないかな。 <p style="padding-left: 40px;">例えば ふれあいカードの配布など</p>	
<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の推薦は地区(行政区単位)ごとされるため、1期3年間の任期が終了すれば、再任されることはほとんどありません。そのため、民生委員の役割や活動が理解できるころには終了となり、組織としても、個々としてもスキルを上げることが難しい状況。 ・地域コミュニティーを構築するのが難しい現況のなかで、民生委員児童委員の役割を果たすのは大変なことです。過去からの取り組みのなかで、山梨市の各地区の民生委員会組織においても、その取り組みの度合いに大きな差が見られます。市には、これらの現状を理解していただき、組織力の弱いところには、きめ細かいさらなる支援・指導をお願いしたい。 	
<p>《定例会の様子》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会は、牧丘3地区(諏訪・中牧・西保)合同で毎月実施している。 <p>市全体の地区会長定例会の報告、依頼、チラシの配布や児童委員の報告が主な議題であったが、最近では、各地区の委員の活動を通じた相談や悩みの報告が各委員間で行われるようなこともあり、委員の意思疎通を図る場ともなっている。</p>	

三 富 地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会 長 名 荻原 眞紀子

副 会 長 名 山縣 祐子

民生委員定数 10 名 うち主任児童委員 1 名

【年間の主な行事】 （期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

- ・ 山梨市民生委員児童委員協議会総会
- ・ 毎月第三火曜日 地区民児協議会定例会 ・ 毎月上旬山梨市民児協地区会長定例会
- ・ 地区社協への協力（6月すこやか講座・10月福祉運動会・11月福祉まつり）
- ・ 三富地区民児協研修会 中堅リーダー研修会 主任児童委員研修会 正副会長研修会
- ・ 敬老祝い金・歳末贈呈品届け・共同募金集金（市社協協力）

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度避難行動要支援台帳の更新及び配付 ・ 山梨市防災アプリ使い方 ・ 3/19研修旅行会計報告・反省 	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修事業補助金の交付申請書について ・ 三富地区研修の研修先 ・ 10/12福祉運動会の反省事項
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期高齢者の実態把握 ・ 寝たきり高齢者・認知症高齢者介護慰労金申請 ・ 寝具類洗濯乾燥サービス事業 	11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三富地区研修先決定 ・ 補聴器購入費用助成の説明 ・ 社協生活サポート事業の紹介 ・ ひきこもり講座感想発表
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨市高齢者緊急通報システム（ふれあいパンプ）見直し ・ 6/23のすこやか講座役割分担 ・ 市生活支援体制整備事業説明 	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歳末たすけあい激励金届 ・ 宮崎県全国大会の報告 ・ 定例会欠席の注意喚起 ・ 民生委員児童委員手帳活用
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員児童委員による金銭取扱いに関する基本的考え方 ・ 活動報告書記入の確認 	1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配食サービス事業利用更新 ・ 県指定民児協の検討 ・ 電話詐欺注意喚起 ・ ふれあいパンプ申請と撤去
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待と高齢者虐待 ・ 民生委員児童委員協議会の会費納入 ・ 生活福祉資金貸付制度の説明 	2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配食サービス事業利用更新 ・ 指定民児協の意向再確認 ・ 灯油助成券交付手続説明 ・ 山梨市地域医療懇談会
9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歳末たすけあい事業対象者名簿作成 ・ 救命講習会 ・ 市福祉善行賞表彰の推薦 	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三富地区研修会 ・ 高等裁判所 ・ 警視庁

【取り組みの事例】

(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

- ・ 毎月第三火曜日に地区定例会
- ・ 民生委員は地区社協の評議員なので、社協開催行事には必ず参加し、協力
- ・ 新人の委員が8割なので、出前講座を活用し、勉強会を開催

6月18日 山梨市生活支援体制整備事業に関する説明会

7月16日 能登半島地震での学び「災害が起きたとき 私たちができること」

8月20日 孤独・孤立対策または自殺予防防止対策の対応事例について

9月17日 救命講習会 (AED、段ボールベッドの組み立て)

10月15日 高齢者虐待について

11月26日 「MCI(軽度認知症)を早期発見」

12月17日 空き家対策

1月21日 赤い羽根共同募金のつかいみち

2月25日 成年後見人制度

3月13日 三富地区福祉バス運営について

3月18日 三富地区研修会 (高等裁判所 警視庁視察)

- ・ 県民児協研修会参加

10月2日 中堅民生委員リーダー研修会

11月6日 主任児童委員研修会

11月15日 正副会長研修会

- ・ ミニデイサービスへの参加 (ほうとうづくりとクリスマス茶会)

《評価》

- ・地区の行事を通して、地区福祉協議会等、各種団体と協力し、地域住民に参加の声をかけをし、見守りと住民の交流を広げている。
- ・月一度の定例会では、委員相互で地域の情報交換を密にし、地域全体で見守る、支える必要機関につなぐなど、全員で協議し対応する体制ができている。
- ・定例会後には、市の出前講座で研鑽を積み、日頃の見守り活動にあたっている。

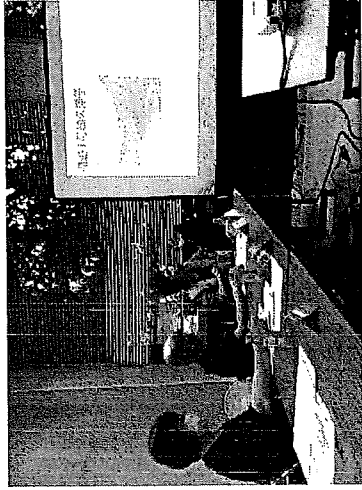
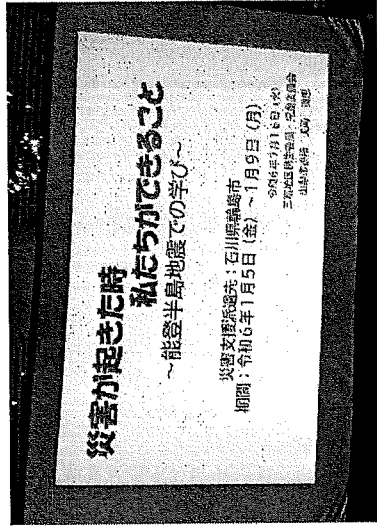
《課題》

- ・能登半島地震を機に、防災危機管理課と連携し地区防災プランを構築中
(モデル地区 川浦一区)
- ・三富地区は高齢化・少子化が進んでいる。コロナ禍で行事が中止で外へ出る機会が少なくなり、住民同士や地域との関わりが少なからず遠のいている状況である。
今後は、まず身近な地域でのいきいきサロンの普及に協力し、見守りをしながら、孤独孤立のないよう高齢者に寄り添っていききたい。
- ・地域住民に福祉サービス等の情報提供と支援をし、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたい。
- ・県・市で行う研修会には、スキルアップのため積極的に参加してもらいたい、
- ・今後、定例会の市の出前講座では、色々な分野を学習する予定

【 定例会の様子 】

別紙写真あり

【令和6年7月16日】



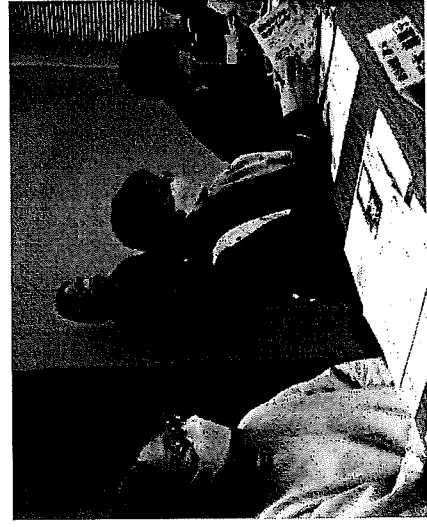
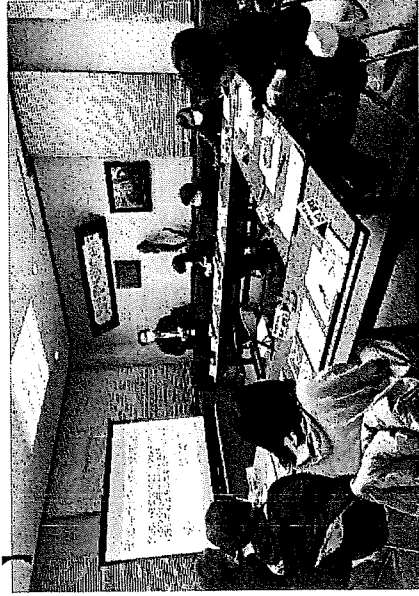
【9月17日】



三富も山間地域なので、心配だ

AEDの大切さを実感

【11月26日】



救命講習は 毎年必要だと思った!!

将来は3人が認知症?!
え〜〜!! 困ることだ

早期発見が大事!!
地域でも温かく見守ろう

